

主要な業務に関する事項

1. 事業の概要

当会計年度のわが国経済は、国内外での新型コロナウイルス感染拡大を受け、社会経済活動が大きく制限されるなか、個人消費の減退をはじめ極めて厳しい状況となりました。国内外で徐々に経済活動再開の動きがみられるものの、感染拡大の収束時期の見通しが立たずに依然として予断を許さない情勢です。

わが国のペット業界については、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等により在宅時間が長くなったことなどから、新たにペットを飼い始める飼育者の数が増加しました。また、在宅時間が増えたことで、ペットとのコミュニケーションやケアに時間をかける飼育者が増加し、ペットとのコミュニケーションやケア、住環境の改善に関する商品市場が伸長しました。新しい生活様式が広がる中、上記分野を中心とした需要は今後も継続するとみられており、こうしたことなどから、ペット関連市場は2020年度以降も拡大傾向で推移すると見込まれています。

このような情勢のもと弊社では、主に以下の3点に注力して取り組んでまいりました。

1つ目は、管理態勢の改善・強化で、新管理態勢における運用の徹底と改善を行いました。2019年度、経営課題として「管理態勢の改善・強化」を掲げ、既存の仕組み・ルールの変更や新たな規程等の策定を行い、新管理態勢に移行しました。2020年度は新たに策定したルール等の運用を徹底するとともに、隔週で実施している管理態勢強化会議において経営陣が定期的に報告を受け、必要に応じて改善を図るモニタリングサイクルの実施を徹底し、新管理態勢の定着と改善を図りました。

2つ目は、業務改善機能の強化です。業務改善の量・質・スピードは、当社のような低価格を武器としている会社にとって生命線であると考えています。当社は、これまで経営陣を中心に業務改善活動を推進してきましたが、事業拡大やそれに応じた人員数の増加に伴って、これまでのアプローチ（トップダウン型）のみでは不十分になりつつあると考え、実効性のある業務改善活動が継続的に行われるよう、ボトムアップ型でも業務改善が行われる態勢を整備しました。

3つ目は、お客さまへの情報提供態勢の見直しです。当社は、これまでお客さま本位の情報提供に取り組んできましたが、その取り組みは、「一つひとつの資料やWEBサイトページをそれぞれの課題に応じて改善する」という改善の積み重ねでした。

その結果、「ひとつの資料として」や「ひとつのWEBサイトページとして」は改善されているものの、全体としてまとまりに欠けるという状態に陥りつつあると考えています。お客さま本位の情報提供の視点で考えれば、「一つひとつとしてもわかりやすく、全体としてもわかりやすい」を目指すべきであると考え、お客さまへの情報提供態勢の見直しに取り組み、当社ホームページのリニューアル等を実施しました。

本年度の事業成果（収益等）としては、収入保険料2,430,305千円（昨年同期比+573,677千円）、保有契約件数105,999件（昨年同期比+27.1%）となりました。費用については、保険金等支払1,002,967千円（昨年同期比+317,411千円）、事業費1,097,662千円（昨年同期比+240,153千円）となりました。結果、経常利益7,449千円（昨年同期比▲65,186千円）、当期純利益3,937千円（昨年同期比▲51,201千円）と、利益を上げることができたものの、前年度よりも利益が減少しました。

当社では、以下の項目を対処すべき重要な課題と認識しています。

1. ガバナンス（経営管理）の強化

現在、保有契約件数は着実に増加しており、それに伴って組織も拡大（社員数も増加）しています。また、新型コロナウイルス感染症や競合の増加（新規参入）など、当社を取り巻く環境も大きく変化しています。特に、リモートワークや時差出勤の導入など、新型コロナウイルス感染症がもたらした働き方の変化は大きく、社員同士が物理的な接点を持つことは事業活動の前提ではなくなりました。こうした社内・社外両面の変化に対応して経営管理態勢を強化することは、当社の重要な課題の一つであると考えています。

2. コンプライアンス・リスク管理の強化

当社は、ペット保険会社として、社会的な責任に真摯に向き合い、お客さまが安心して当社サービスをご利用いただけるよう、コンプライアンス・リスク管理の強化に取り組めます。

3. デジタル化の推進

当社は、お客さま満足度の向上を実現するために、デジタル化に取り組めます。

近年、お客さまより、電子媒体での手続きや通知等を求める声をいただくことが増えてきました。これまで書面で行っていた通知や手続きを電子化することで、お客さまの利便性を高めてまいります。また、社内業務についてもデジタル化を推し進め、業務運営の生産性を向上させ、お客さまへのサービス提供により多くの時間を費やすことができる環境を生み出したいと考えています。

2. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位：千円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度
	金額	金額	金額
経常収益	1,497,311	1,862,560	2,505,347
経常利益	103,331	72,635	7,449
当期純利益	78,067	55,138	3,937
資本金の額	63,000	63,000	63,000
発行済株式の総数	2,520株	2,520株	2,520株
保険業法上の純資産額	417,117	527,591	599,618
総資産額	1,134,831	1,422,482	1,738,868
責任準備金残高	683,229	839,840	1,004,039
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	422.9%	407.1%	366.2%
配当性向	—	—	—
従業員数	49名	65名	83名
正味収入保険料の額	1,487,098	1,844,564	2,269,843

3. 直近の2事業年度における業務の状況を示す指標等

(1) 主要な業務の状況を示す指標等

①正味収入保険料

(単位：千円、%)

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,844,564	100%	2,269,843	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,844,564	100%	2,269,843	100%

②元受正味保険料

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,844,564	100%	2,414,578	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,844,564	100%	2,414,578	100%

③支払再保険料

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	—	—	145,242	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	—	—	145,242	100%

④保険引受利益

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	74,785	100%	6,724	100%
その他の保険	—	—	0	—
合計	74,785	100%	6,724	100%

⑤正味支払保険金

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	685,556	100%	1,002,967	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	685,556	100%	1,002,967	100%

⑥元受正味保険金

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	685,556	100%	1,010,172	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	685,556	100%	1,010,172	100%

⑦回収再保険金

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	—	—	7,205	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	—	—	7,205	100%

(2) 保険契約に関する指標等

①契約者配当金

該当事項はございません。

②正味損害率、正味事業費率及びその合算率

	2019年度			2020年度		
	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
ペット保険	37.2	46.5	83.7	44.2	45.4	89.6
その他の保険	—	—	—	—	—	—
合計	37.2	46.5	83.7	44.2	45.4	89.6

③出再控除前の発生損害率、事業費率及びその合算率

	2019年度			2020年度		
	発生損害率	発生事業費率	合算率	発生損害率	発生事業費率	合算率
ペット保険	39.5	49.3	88.8	49.7	49.2	98.9
その他の保険	—	—	—	—	—	—
合計	39.5	49.3	88.8	49.7	49.2	98.9

④出再を行った再保険会社の数と支払再保険料のうち上位5社の割合

	2019年度	2020年度
出再を行った再保険会社の数	—	1
支払再保険料のうち上位5社の割合	—	100%

⑤支払再保険料の格付ごとの割合

	2019年度	2020年度
A以上	—	100%
その他	—	—
合計	—	100%

格付区分は、日本格付研究所（JCR）の格付を使用しております。

⑥未収再保険金の額

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	—	—	30,899	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	—	—	30,899	100%

(3) 経理に関する指標等

①支払備金

(単位：千円、%)

	2020年3月末		2021年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	205,916	100%	270,811	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	205,916	100%	270,811	100%

②責任準備金

	2020年3月末		2021年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	839,840	100%	1,004,039	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	839,840	100%	1,004,039	100%

③利益準備金及び任意積立金の区分ごとの残高

	2020年3月末		2021年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	—	—	—	—
その他の保険	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

④損害率の上昇に対する経常利益の変動の額

	2020年3月末	2021年3月末
損害率上昇のシナリオ	発生損害率が1%上昇すると仮定	発生損害率が1%上昇すると仮定
計算方法	正味既経過保険料×1%	正味既経過保険料×1%
経営利益の減少額	17,377	21,635

(4) 資産運用に関する指標等

①資産運用の概況

(単位：千円、%)

	2019年度		2020年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預貯金	1,078,296	75.8	1,242,349	71.4
金銭信託	—	—	—	—
国債	—	—	—	—
地方債	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
運用資産計	1,078,296	75.8	1,242,349	71.4
総資産	1,422,482	100.0	1,738,868	100.0

②利息配当収入の額及び運用利回り

	2019年度		2020年度	
	金額	利回り	金額	利回り
預貯金	10	0.00	12	0.00
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	10	0.00	12	0.00

③有価証券の種類別残高及び構成比

該当事項はございません。

④保有有価証券の利回り

該当事項はございません。

⑤保有有価証券の種類別の残存期間別残高

該当事項はございません。

4. 責任準備金の残高の内訳

2020年3月末現在

(単位：千円)

	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金等	合計
ペット保険	617,765	222,075	0	839,840
その他の保険	—	—	—	—
合計	617,765	222,075	0	839,840

2021年3月末現在

	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金等	合計
ペット保険	713,874	290,165	0	1,004,039
その他の保険	—	—	—	—
合計	713,874	290,165	0	1,004,039